

# 教育だより

**赤ちゃんは、  
こんなに絵本を楽しみます**

町では、平成20年6月より、保健センターで実施される4ヶ月児健診の会場に図書館スタッフが出向き、「赤ちゃんと一緒に絵本を楽しみ、豊かなひとときを作ってみませんか」と呼びかける「ブックスタート」を始めました。  
問い合わせ 中央図書館 ☎258-6464

～ブックスタート会場には、  
笑顔がいっぱい～



## ■ブックスタートとは？

ブックスタートは、赤ちゃんと保護者に絵本を介した心豊かな子育ての時間を持つきっかけをつくる活動です。町では、町内に生まれたすべての赤ちゃんとお会いできる可能性の高い4か月児健診（平成19年度の実施率は、98.6%）で実施し、12月までの7か月間で計153人の赤ちゃんが、ブックスタートを受けました。

## ■どんなことをやるの？

赤ちゃんとお保護者の1組ずつに図書館スタッフが絵本を読みます。親御さんに自分の赤ちゃんが絵本に興味を示す姿を見ていただき、また、絵本を親子で楽しむ喜びも味わっていただいた上で、おすすめの絵本1冊と町立図書館の推奨絵本リストなどが入った「ブックスタートパック」(\*)を贈呈し、家庭での読み聞かせをすすめます。

## ブックスタートパックの中身



- ※ブックスタートパックの中身  
ラッコの絵の可愛いパックに入っています。
- ※絵本（2冊のうち1冊を選んでいただきます）
  - ・『いないいないばあ』（松谷みよ子文 瀬川康男 童心社）
  - ・『がたんごとんがたんごとん』（安西水丸さく 福音館書店）
- ※冊子「あかちゃんのすきなものしってる？」  
（ブックスタート支援センター）
- ※ブックリスト「あかちゃんのためのファーストブック」（三芳町立図書館）
- ※図書館利用案内など

## ■赤ちゃんに 絵本がわかるの？

工夫を凝らしてはおりませんが、赤ちゃんにとっては落ち着きにくい会場です。絵本よりも初めて出会う読み手の顔の方が気になり、集中しづらい赤ちゃんも、もちろんいます。でも、そんな子も7分程度の持ち時間内で2度、3度と読むうちにどんどん絵本に慣れていき、こちらが驚くほど絵本をじっとみるようになります。中には、絵本の中のことに合わせて口をもぐもぐ動かしたり、「きゅうっ」と笑い声を上げる子もいます。それを見た親御さんたちは、と本当に嬉しそう。「まだ、おしゃべりができない赤ちゃんでも、ちゃんとことが分かってるんだと実感でき、とても嬉しい。ますます可愛く思えます」という声もたくさん聞こえてきます。

## ■なぜ、「読み聞かせ」なの？

赤ちゃんは、親をはじめたぐさんの人々の愛情に満たされたことばのシャワーを浴びたとき、自

分が大切にされ、愛されていると知り、喜びを感じます。この喜びがあるから、赤ちゃんの心はすくすくと育っていきけるのです。ところが最近では、「赤ちゃんに何を話したらいいの？」「あやし方がわからない」と、戸惑う親御さんも少なくありません。

そんな方にこそお奨めしたいのが読み聞かせです。質の高い絵本の中には、「耳に心地よい美しいことば」が散りばめられています。赤ちゃんの大好きなお父さん、お母さんの声で、素敵なお話のシャワーをたくさんかけてあげましょう。

## ■読み方のコツは？

「赤ちゃんのためだけに読む」のではなく、親自身が、赤ちゃんの反応と、絵本の世界を楽しむのがコツです。ページをめくるたびに現れる生き生きとした絵や、ことばの響きを楽しみましょう。絵本の世界を味わううちに、不思議と親の気持ちがゆったりと落ち着きます。読む声の魅力も増し、赤ちゃんは、どんどん絵本が好きになっていきます。赤ちゃん向きの絵本は、ゆっくり読んでも3分以

## ■1歳になったら 「べらべらタイム」へ

内で読み終わられるものばかり。ほんの短い時間ですが、きつと子育てが楽しくなるでしょう。

おすすめの絵本や紙芝居を職員とボランティアが読み聞かせ、親子で楽しんでもらう会です。絵本「まりとぐら」（福音館書店）の主人公、ぐりとぐらの指人形での「ごあいさつ」等、工夫を凝らしたおはなし会です。おすすめの絵本もたっぷり紹介します。

最近では、ブックスタートを受け、家庭でも読み聞かせを続けてきたという母子が、「もう1才になりましたよ！」と笑顔で駆けつけてくれるようになりました。  
※開催日時は、13ページ「図書館だより」参照

## ■アフターケアは図書館で

本選びや、読み聞かせるときの注意点など詳しくお知りになりたい方は、お気軽に図書館にお越しください。児童サービス担当職員が、丁寧に対応いたします。



←三芳東中1年生の赤ちゃんふれあい体験授業とも連携

**図書館だより**

中央図書館 ☎258-6464  
火～金 10:00～19:00 土日 10:00～18:00  
竹間沢分館 ☎274-1722  
火～日 11:00～18:00



**2月の予定**

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28

※ 8日までは、システム更新工事のため全館休館いたします。

〈中央図書館〉  
📖 **ぐりぐらタイム**  
(絵本・紙芝居・手遊び・本の紹介)  
第1・3金曜日 11:00～11:15 1・2歳～  
11:20～11:40 3歳～  
第2・4火曜日 16:00～16:30 4～8歳  
♥ **とじょかん・くらぶ-会員制-**  
(講師の読み聞かせと司書のブックトーク)  
10:10～10:55 1・2年生 40人  
11:05～11:50 3・4年生 40人

♣ **かにかにこそこそ**(第3水曜日/大人対象)  
10:00～12:00 (昔話などを覚えて語る練習会)

〈竹間沢分館〉  
📖 **ぐりぐらタイム**(絵本・紙芝居など/第4火曜日)  
11:00～11:30 1歳～  
◆ **スイミーおはなし会**(読み聞かせとブックトーク/第4木曜日)  
16:00～16:30 4歳～小学生



〔児童書〕

「ローザ」

ニッキ・ジョヴァンニ文 プライアー・コリアー絵 さくまゆみ訳  
一九五五のアラバマ州でバス運転手の命令に背き白人に席を譲るのを拒んで逮捕された黒人女性ローザ・パークス。公民権運動の母と呼ばれる彼女の姿を通して多くを伝える絵本。



〔児童書〕

「ペンギンのヒナ(みつげようかかく)」

ベティ テイサム作 ヘレン K. デイヴィー絵 はんざわのりこ訳  
ペンギンは、卵を産むのはお母さんで、卵を孵すのがお父さん。ペンギンの子育てを美しい絵で生き生きと紹介する絵本。ペンギンのヒナが成長する姿をのぞいてみませんか？

★平成20年度子どもの本の講座part 2 (2回講座)

テーマ/科学・ノンフィクション絵本の読み方・選び方

日時・内容

①2月5日(木) 10:00～12:00 実践を交えた講義を中心に

②2月19日(木) 10:00～12:00 演習を中心に

講師/代田知子(当館副館長、日本子どもの本研究会理事)

対象/地域で読み聞かせ活動をしている方

定員/60名(2回連続で参加できる方を優先)

申込み/中央図書館にて受付中。電話可。

図書館の本棚より「科学絵本・ノンフィクション絵本」コーナーで展示中

# 健康スポーツライフ

このコーナーでは「スポーツと健康」をテーマに、様々な役立つ情報をみなさんにお届けします。  
問い合わせ スポーツ振興課(総合体育館内)  
☎258-0311

今月は、『運動と骨』の関係についてご紹介します。

## 《運動と骨》

フィットネスルームで行うランニングや筋力トレの効果は身体を引き締めたり、筋肉を付ける事ですが、実は骨量維持にも大きく貢献しているのです。ランニングによって骨量維持!骨量維持の大事なポイントは骨への衝撃です。この衝撃にあたるのがランニング時の着地やジャンプ動作なのです。骨は適度な衝撃を与えると成長するようにできている組織なのです。筋トレによっても骨量維持!骨と筋肉はくっついていますが、筋肉が鍛えられ強くなると骨が筋肉によって今までよりも強く引っ張られます。骨は強く引っ張られるとそれ(筋肉の力)に負けないように抵抗するのです。この抵抗とは骨を太く、強くする事なのです。  
筋力トレーニングマシン、ランニングマシンが揃っているフィットネスルームを骨のためにもご利用ください。



**《簡単ボール30》**



木曜日 13:30～14:00 担当:祖父江ひとみ  
金曜 11:15～11:45 担当:町田浩一  
ゴムでできた大きなボールに座ったり、寄りかかったりして楽しくニコニコしながらできるレッスンです。ボールですので安定性がなく、ただ座るだけでもバランスを保とうとし、お腹や腰の筋肉に刺激を与えます。  
ボールレッスンは健康な日常生活に不可欠な体幹部を強くでき、また、腰や膝に負担をかけずに運動ができるメリットがあります。

**三芳の文化財**  
第21回 三芳生誕120年  
～三芳村誕生前夜～

平成21年、三芳は生誕120年を迎えます。地名も文化財、今回から三芳誕生の経緯を紹介しましょう。

三芳町の前進、三芳村は明治22年(一八八九)4月1日上富村・北永井村・藤久保村・竹間沢村が合併し誕生しました。

政府は明治20年3月に「町村郡市区画基準」を作成し各府県に合併試案作成を命じました。江戸時代から続く小さな村々を概ね300戸以上に合併させる計画で、埼玉県では機密裏に試案をまとめ、8月22日付けで内務省に合併案を提出しました。

その案で現在の三芳地域は、  
藤井村:北永井村・藤久保村・坂ノ下村・竹間沢村・城村が合併。戸数合計399戸  
富永村:南永井村・上富村・日比田村・亀ヶ谷村・本郷村が合併。戸数合計417戸というものでした。

その後、合併案は内務省によって修正され、「独立町村編成案」として県に、県から郡役所を経て町村に通達されました。

「独立町村編成案」では  
富永村:藤久保村・北永井村・南永井村・上富村を合併  
柳瀬村:竹間沢村・坂之下村・城村・本郷村・亀ヶ谷村・日比田村に南永井村を加えることを要望する。

③柳瀬村からは、竹間沢村・坂之下村・城村・本郷村・亀ヶ谷村・日比田村に南永井村を加えることを要望する。

さらに他の概当村からは江戸時代からの村々の繋がりを断ち切ることに、この反論などもだされました。こうした意見を県と協議しながら調整し、ようやく合併告知2か月前になって、上富村・北永井村・藤久保村・竹間沢村の4村の合併が決まり、三芳村が誕生することになりました。

**教育トピックス**

12月17日(水)、役場庁舎において「平成20年度中学生の税に関する標語」の表彰式が行われました。この標語は、関東信越国税局主催によるもので、中学生の皆さんが税を身近なものとしてとらえることを目的に行われているものです。  
受賞者(敬称略)  
県税事務所長賞  
「税金は 未来の自分へ 贈るもの」 高山 ゆうか(三芳中)  
税務署長賞佳作  
「税金で 明るく楽しい 住みよい社会」 星野 有紀(三芳中)  
「税金は みんなを繋ぐ 笑顔の輪」 本田 菜生(藤久保中)  
町長賞  
「教科書は 税で作った 必需品」 米倉 風流(藤久保中)  
教育長賞  
「未来への 架け橋つくり」 中村 理紗(三芳中)  
税金で

「中学生の税に関する標語」表彰式

国税モーター会長賞  
「その道路 一人一人の 税金で」 桑田 拓哉(藤久保中)  
協会長賞佳作  
「税金を 無駄なく使い 明るい未来」 関 穂規(三芳中)

